

## 神戸地域夢会議「農都・神戸を訪ねる(垂水漁港編)」

と き 平成15年9月17日(水) 11:30~  
ところ 垂水水産会館  
参加人数 10人

### 開催趣旨

「農都・神戸を訪ねる」では、神戸の農作物・水産物について自分の足で調べ、農業・水産業に従事している人たちからお話を伺い、「農都・神戸」「地産地消」などについて意見交換します。神戸地域ビジョン委員会『農都・神戸づくり』グループの活動の一環として昨年度に引き続き実施するもので、漁港を訪ねるのは今回が初めてとなります。

テーマ 神戸の漁業を考える

### プログラム

- ・垂水漁港の昼せりの見学
- ・神戸の漁業、いかなご漁等についての説明  
(神戸市漁業協同組合 柴 宏有さん)
- ・意見交換
- ・垂水水産会館での直売「漁業デー」の見学



### 意見交換

- ・神戸のような都会に、漁協があるということ自体が珍しく、また地産地消という観点から見れば貴重なことだと思う。
- ・「垂水漁港発」というように、新鮮さを近くの百貨店などでアピールできないか。
- ・今日の見学で、漁業に従事する若い連中がかなりいることがわかり、少し安心した。



### 地域ビジョン委員の声

#### 「垂水漁港のセリと直売施設」

垣尾 稔

神戸西の垂水漁港を訪れ、ビジョン委員の柴さんより神戸市漁協組合の現状と「いかなご」などについて説明を受けたあと、瀬戸内の活きたままの魚が若く威勢のいいセリ人により手際良く捌かれて行くようすを見学してきました。

江戸前の魚に比べても決してひけをとらない神戸の前どれの魚が、すぐ近くで手に入ることがこの街の素晴らしいところです。隣接する水産会館の直売所でセリ後の「こういか」と「しづ(うおぜ)」を買い込み、帰宅後早速イカ刺しとバター焼きにして瀬戸内の味を堪能したものです。

こうした直売施設が近くに住んでいるごく一部の人にしか知られていないのが残念に思いますので、農漁の直売施設をまとめたマップ作りに取り組み地産地消について考えて頂く場を提供したいと考えます。